



社説

日刊の前に起ちて

孤立無援の本社が、凡ゆる經濟壓に至つたのである。...

孤立無援の本社が、凡ゆる經濟壓に至つたのである。...

既成政黨の末期

時代の落伍者として恥ぢよ

吉村白水

時正に政治季節に入り政友會、憲政會、將た革俱樂部の諸政黨若し

Table with subscription information: 發行日, 定價, 廣告料, 發行所.

くは政治的團體は何れも總動員をこらうたれども唯黨員の離合... 國各地に散在する各政黨支部に於ては...

だじきものといふべし、國民黨はするとも又如何に元老が官僚癖を... 殘格を殘して斃れ新政黨たる革新...

今秋行はるる縣議の選舉に於て改造の第一聲を擧げよ

地方の代表的人物として目せらるる... 佐藤庄太郎 漆畑元吉...

猪狩金之助 中野甲藏 眞木隆四郎 鈴木省吾...

磐洋俳句 磐崎 久助 牡丹王侯の庭に氣高き牡丹が...

文化生活的基調

近來新しい生活文化世界的生活... 活等生活といふ言葉が多く用ひらるが、何れの語にも我々の日常...

奇々怪々?

暗雲に包まれる

平屠殺場 (五)

本紙毎週連載の暗雲迷宮に入る... 屠殺場問題は、本紙毎週連載の暗雲迷宮に入る...

佐藤検事の手帳

本社の擴充

暗雲迷宮の平と場は今夜の旅行... 川柳名鑑編纂... 諸根正一氏の地方文化企舉...

諸根正一氏の地方文化企舉

探知に活動を始めたるなり、其効... 血迷ふた岡田一派... 名檢事の譽ある...

編輯室より... 本社は日刊を豫期すると〇に一個... 諸根正一氏の地方文化企舉...

平町水道の 恩人を忘るゝな

司命者酒井國三郎氏を

將一人平町を建設せんとするの秋
根本要素たる水道の設備を見たる
町民の生命保全を証するものな
り町民は等しく此舉を紀念すると
共に此施設に對する先覺者恩人た
る **山崎與三郎氏** 及
酒井國三郎氏 を忘れて

はならぬ 古來より人の悪いは磐
城の平の俗稱は水は悪いの意な
らん實に平町の浄水に欠ける地勢
の關係とは云ふものゝ全く衛生思
想の幼稚なる結果なり 今より三
十年前に於て水道の必要を説き其
急を叫ぶも町民は更に呼應せず
社曾根本基調たる衛生に自覺する
もの頭數に於て幾何をも見ず流石
は徳の人として尊敬せらるゝ

山崎與三郎氏 と司命者として
酒井國三郎氏 氏は公衆衛生個
人衛生より鑑み飲料水供給水道急
設を企圖して世論に訴へ天雷の如
く絶叫せしも其効ならず明治三十
九年小田原勇氏半署長當時は衛
生の發達を計り激を有力者に飛ば
して奔走せるも町民の覺醒鈍にし
て多年の苦心も水泡に歸して徒勞
今日に至り漸く地方の向上發展を
衛生思想の發達に動かされ水道布
設の舉を見たるは將に平町の一
廓城を築けるものなり 明治三十
九年飲料水供給方法改善を絶叫せ
る當時現町長 **伊坂貞正**

氏も **酒井國三郎氏** 共
に東京神奈川大坂名古屋と各地を
巡視衛生上水道の布設に研究せり
縣當局に迫りて其意を説き一方地
方民の覺醒を促したるも或は經濟
上より或は尙早論を唱ひ此國家的
の事業も延期々々を重ね精神的の
美譽も町民の容るゝ所とならず然
れども其効空しからず 今日大平
町建設の第一歩として水道布設の
實現せる眞に悦ばしき事なり 一
方衛生上に於ても地方一般衛生思
想の發達もこれによりて証するを
得たるなり 其當時水道布設のた
る衛生問題を提起期成同盟會を起
して町民の喚起を叫びたる同氏の
激文を參考途に左に掲載す 同氏
は常に町の衛生に重きを置き根本
基調を培はんと腐心しつゝあり
天職たる醫術の研究は勿論町の溝
下水の排水改業策 ても日夜心
を痛めて居る同氏 町民は地方の
先覺者として又衛生 顧問として
水道布設に對す
る恩人として永久に忘るゝ
勿れと附言するものなり

水道の喫緊を論
し平町民に檄す
明治三十九年十一月
醫師 酒井國三郎

平町の將來は眞に有望なり此地方

一帯に石炭の産額頗る饒多なるとなり結核患者近來將に益々繁殖の陥り町民の生存をして危殆ならしらん等なれとも今日の際實に於て
海産に工業に其他實業界の經營戰 傾向あり必然交通の頻繁に拉れ之めつゝあるに非らずや之が救済の果して町民の疲弊せし徴候ありや
后著しく發展しつゝあるを以てなれ等疾患の傳播は多少免る可から
途は完全なる飲料水の供給に俟たざるや余輩の所見を以てするは當に
り然り今春祝融の災禍に遭遇し市すと雖も水道の布設下水の改良に
ざる可からず 之れ余の水道問題之を認むる克はざるのみならず町
街の大半殆んど烏有に歸せり當時由つて著しく患者數を減殺し若し
世人謂ひらく町の復舊は十五高のくは根絶の現況にあるもの彼れ神
後を俟たざる可からずと而も今や 奈川縣泰野、横濱、東京、大坂等
幾月ならずして既に大層方樓軒を何れも水道に由つて顯著なる効果
並べて輪輿の美却つて昔に優るのを收めたるに非ずや果して然らば
觀あらしむ従つて市區の改正公園我々町は現時に於て速かに水道の
設置招魂碑の建立水道問題等市布設せざる可からず 若しも此舉
尙的事業茲に勃興し來り其舉の實業にして雲烟の中に浸りし去らば
行も又遠きに非ざるべし 就中刻平町は永劫に傳染流行地として
下當時に於ける焦眉の急は飲料水又飲料水粗悪地として地方人賄余
の改善即ち水道の設備にあり 之せられ將來の發達繁榮は得て望む
れ町民が年來の宿望にして時運の可からず

人口千人に對する一ケ半
「チフス」患者死亡數
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
の士なきにしも非ず一應尤もの説 然れども方今の
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の

人口千人に對する一ケ半
「チフス」患者死亡數
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
の士なきにしも非ず一應尤もの説 然れども方今の
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の

人口千人に對する一ケ半
「チフス」患者死亡數
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
の士なきにしも非ず一應尤もの説 然れども方今の
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の

人口千人に對する一ケ半
「チフス」患者死亡數
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
の士なきにしも非ず一應尤もの説 然れども方今の
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の

人口千人に對する一ケ半
「チフス」患者死亡數
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
の士なきにしも非ず一應尤もの説 然れども方今の
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の

吉田兼吉氏の結婚披露

磯原多賀劇場にて舉行

吉田兼吉氏は先妻日子女史天死後三小學校長其他二三の親戚あり
年の謹肅を以て 六月十八日盤城本郷土者代表者諸君正一氏の謹肅
銀行支店長柳内元藏氏の媒酌にては、チャイアント吉田氏の末來を
謹如く閉會の辭は多賀郡長代理石
君を迎へ當日正午より雨天にも不堂書記の終結に歸し 加ふるに水
戸地方の名士を各新聞記者在京友 戸雷神大紳樂狂言及磯原多賀連中
人及同郷人等無算 百人を招宴せの踊等あり夜八時盛會裡におはる

人口千人に對する一ケ半
「チフス」患者死亡數
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
の士なきにしも非ず一應尤もの説 然れども方今の
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の

人口千人に對する一ケ半
「チフス」患者死亡數
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
民の疲弊實に思ひ遺らるゝ場合にとも此有様を見て直に町民の
於て巨額の資を投じ云々の論鋒を 力を云々するが如きは愚と謂ふべ
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の
の士なきにしも非ず一應尤もの説 然れども方今の
の如きなれども市民の健康を助長 便利ありと聞く當局諸氏既に成
以て反對を唱ひ或は早尚を論ずる じ水道の布設素より巨万の

社告

民間警察

私立探偵所開設

秘密を嚴守するは勿論何事を取扱ふにも公私の利益圖り信切正直誠實を旨と致します

民刑事事件証據蒐集 銀行會社及個人の信用調査 家出人搜索
及婚姻身本查詢學生雇人の人事調査 債權取立其他人事百般の依頼に應ず

◎他方面へ出張探偵旅費及其外の規程は別表進呈

磐洋新聞社

社告

本紙は弱齡にして公言を憚るも幸に日刊を宣言するの機運に到達せしは偏に同情諸賢の賜と感謝いたします
本社は常に地方の教育と衛生に重きを置き國民保健の根本的基調となすもの衛生思想の普及にありこ叫んで居ります又教育として文化に伴ひ今は如何なる寒村僻地と雖も行届いて居りますが一層此普及發達に努め微力ながら社會に貢献せんとして祈つて止みません此意味から毎月一回本紙を開放して教育衛生の機關となり公開の舞臺となつて磐城地方唯一の此機關たるの本領を發揮して其使命を果したいと思ひます何卒本紙の微意を諒せられ御同情あらん事を懇願致します各學校生徒の成績も載せませす

磐洋新聞社

營業部員募集

外交手腕ある者數名募集す

◇希望者は履歷書携帶至急來社あれ

至急募集す

磐洋新聞社



所版活社陽磐

町治鍛平

内科 外科 耳鼻科 咽喉科
花柳病科
皮膚科

赤心堂病院

トクトルメヂチーネ

柳澤篤義

日本醫學士

橘修理

平町田町

電話四七五五番

入院隨意

中野洋品店

平町二丁目

電話三五番

鹽屋本店

醬油

味噌

釀造元 山崎與三郎商店

磐城平町

電話二七番

印半天

絹物染一式

專門

草野染工場

磐城平町鎌田町

電話三四八番

銘酒 一品一手捌

栗野屋酒店

平町大工町

電話四一〇番

磐城平町二丁目

清光堂書店

電話一三一番

